

ボランティア通信

(創刊準備号)

横浜市民ギャラリーのボランティアによる、みんなの広報誌

発行日：2011 年 12 月 20 日

編集：横浜市民ギャラリーボランティア・広報チーム

発行：横浜市民ギャラリー

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

問い合わせ先：横浜市民ギャラリー

〒231-0031 横浜市中区万代町 1-1

tel045-224-7920 fax045-224-7928

●ボランティア活動について

このボランティア通信は、ボランティアの皆さんの活動を知らせあうことにより、活動をより楽しく実のあるものにするとともに、活動をご存知ない方に広く参加を呼びかけようとするものです。堅苦しくならないように編集・発行を進めて行きたいと考えています。

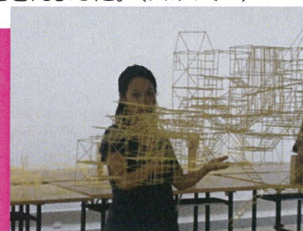
ニューアート展をふいかえて ニューアート展 NEXT2011 Sparkling Days 2011. 9/30-10/19

詳しい展覧会内容については、情報誌「アートヨコハマ」45・46・47号
および市民ギャラリーHPをご覧ください。

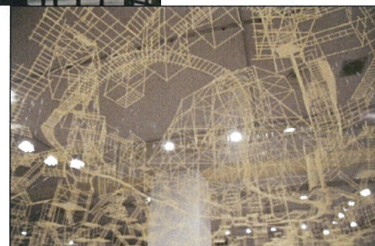
SOYA ASAE の平面、インスタ作品が今大人気だ。
女の作品が語られる時に、「身体性」が使われる。
作家の「からだ」の発信が観る者の
「からだ」全体で受信される。
安らぎは吸収力無限大。(磯野悦郎)

曽谷朝絵のキラキラの部屋は踊りたくなるくらい
テンション上がりまくり！
いい年した友人たちと少女に戻って、大盛り上がり！
バスタブシリーズの優しい色彩に癒され、
女性ホルモンにも良さそうだわ～。
ミヤケマイの絵の中の不思議な仲間にシュールに癒され。
見る人の想像をふくらませる細かいストーリー性と作品のネーミングも
ユーモアたっぷり
三人の作家のどの作品にも、女性らしさが感じられて、心憎いばかり…。
女が女に、はっきり言って、惚れてまうやろ～！そんな感じで大騒ぎ！！
(宮越寿雅子とその友人たちのコメント)

見えるものと見えないものは、別物なのに、区別がつけられない。
人は地に寄って立つはずなのに、バスタブは浮いている。
多彩な色を感じながら、実は二色で出来ている。
「きれいはきたない。きたないはきれい」アートは弾ける。
現実には弾けない。それとも、現実も弾ける？
弾けてみたいときもある。
そんなことを考えました。(A.スミコ)



荒神明香展示作業風景



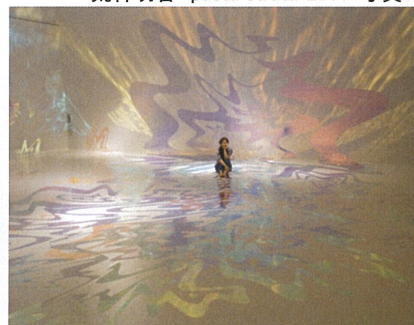
荒神明香 pasta strata 2011 写真:上杉明



ミヤケマイ 道/One for All, All for One 2011



クロストーク(3作家と逢坂横浜美術館長)



曽谷朝絵 鳴る光/Ringing Light 2011



ボラビットくんです。
ボランティア通信、
ついに発行！
これからも、たくさん
の情報をお届けしま
す。

ハマキッズ アートクラブ

初めてのハマキッズ・アートクラブ取材です。

今回は「クリスマスのあったかクッション」

製作ということで3～6年生までの30人の

小学生が参加しました。

父兄の方々が付き添ってきていますが、

受付登録をすると工作室の隅の椅子に座って待つだけ、

子供たちに一切手を出すことも声を掛けることもしません。

子供たちは工作台の席につくと、指導員の説明の順に

クッションの製作を始めます。

針や糸を使った経験はほとんどないのかもしれませんが、その真剣なこと。

「わたし出来ない！」というと、先生に「出来ないって言う言葉は、先生好きではありません、難しいのをがんばってやるのが大事です。」とたしなめられます。

クッションに色々なアップリケを飾りつけ、ふんわりと綿を入れると出来上がり、

その間4時間ほど、子供たちは時間を忘れて製作に取り組みました。

広報レポーター鈴木道弘 (2011.11/27)

